



# 「希望都市まい —将来に夢と希望

## 市民の皆さんとの4つの約束

**子どもや  
女性・高齢者に  
やさしいまちに！**

子育て世帯の支援や高齢者の安心づくり、女性が活躍できる市政を実現します。

**暮らしに安心、  
地域が元気なまちに！**

地域福祉と医療の充実を図り、老いても病んでも、安心して住める地域づくりを、全市に広げていきます。

**未来へ  
たしかな歩みを  
はじめるまちに！**

米原駅の周辺整備を实らせ、観光と物流拠点のまちとして、パワフルで活力のある米原市を創ります。

**市民の声で  
市民とともに  
築くまちに！**

市民の不安やなげきに耳を傾け、市民の目線で市民のためのまちづくりを進めます。



—4つの約束を  
実行するために—

私は、「希望都市まいばら」の実現に向けて、市民の皆さんと上記の4つの約束をしました。

特に、子育て支援の約束の一つとして、「第2子からの幼稚園・保育園の保育料の無料化」と「中学卒業までの通院・入院医療費の無料化」を掲げています。これについては重点施策として、市議会6月定例会に提案したいと考えています。

そして、こういった「未来への投資」を進めるため、私はすべての行政施策の大前提となる「健全な財政運営」と「不断の行財政改革」を着実に実施していきます。

また、今の米原市に足りないと感じているのは、市民の声を聴いて、市民の声を生かしていく体制です。

そこで、私は「職員の地域担当制度」を導入し、私自身が先頭に立って地域の課題解決のスピードアップを図っていきたいと考えています。

# 「ばら」の実現に向けて

を—

## 米原市長 平尾道雄

### — 地域での出会いと

### 再チャレンジへの

### 決意 —

私は4年前に市政を離れ、一市民として米原市政を見守ってきました。その間に、市内の隅々を訪ね、多くの地域の皆さんからお話を聴くことができました。

そして、そこで出会ったのは、これからの生活を心配する高齢者、地域の農業や集落の行く末に顔を曇らせる中高年世代、働きながらの子育てに悩む若いお母さんなどの姿でした。

私が自分の目で、耳で、肌で感じたことは、少子高齢化が進み元気を無くしている地域の閉塞感だったのです。

こうした地域の疲弊に対して、行政や政治がしっかりとした機能を果たしていない。行政は役割を果たしているのだろうか・・・。

私はこのような思いから、市長への再チャレンジを決意し、そして再び市民の皆さんから市長としての信託をいただきました。本当に身の引き締まる思いです。

### — 将来に

### 夢と希望を

### 持てるまちに —

政治と行政の役割は、米原市の未来に、夢や希望をつくることです。私はこれからの市政運営に当たっては、日常的に市民の声に触れ、市民の思いが一つ一つ実現するスタンスで臨み、市民の皆さんが、将来に夢と希望を持って暮らせる米原市づくりに全力で取り組んでいきます。

未来を担う子どもたちは、わがまちの宝です。「県内一子育てしやすいまち」として、子育て世代への支援施策の充実を図り、若い世代の定住を促進していきます。

また、高齢者の皆さんに対しては、各地域に居場所づくりを進め、安心して暮らせる地域づくりを進めていきます。

そして、自治基本条例の理念にあるように、市民の声で、市民とともに進める、自主自立による協働のまちを目指し、地域に元氣やにぎわいのあるまちをつくっていきます。

#### プロフィール

ひら お 道 雄 62歳

1950年12月生まれ  
高番で誕生、堂谷在住

#### 経歴

1973年 4月 米原町役場に就職し、  
企画調整課長・総務課長などを歴任  
2003年10月 山東町・伊吹町・米原町合併協議会事務局長に就任  
2005年 2月 米原市で政策推進部長に就任  
2005年 3月 米原市初代市長に就任  
2013年 3月 米原市第3代市長に就任



こうして、地域に元氣やにぎわい  
があふれることで、あらゆる世代の  
人々が、将来に夢と希望を持つこと  
ができるまち「希望都市まいいばら」  
を目指して、今後取り組みを進めて  
いきます。

さらに、大人がまちに自信と誇り  
を持ち、そしてこの大人の姿が子ども  
たちにしつかりと伝わることで、  
「米原市でがんばろう」、「米原市で子  
育てしよう」という市民が一人でも  
増えることを願って、懸命に頑張り  
たい、このような思いです。

## 市長報酬の

### 削減分を

## 高齢者福祉の財源に

私はこのたびの選挙で、自らの身を切る改革として、市長報酬の3割削減を掲げました。この背景として、「介護は社会的介護で」という時代の方向にあります。地域では、身近な家族介護の実態が存在します。支える側の言いようのない痛みや重さに少しでも寄り添う施策が必要ではないか……。地域を回る中で声なき声を聴いた経験からも、削減した報酬分については、地域で家族や高齢者を支えるしくみづくりの財源として活用したいと考えています。



▲3月6日登庁の様子(米原庁舎)

## 合併10年の

### さらなる先を

## 見据えて

私の任期中には、米原市政合併10年目を迎えます。これは一つの大きな区切りであり、さらにそこから新たな未来に向かつて羽ばたくことができる米原市となるためにも、この4年間でもう一度しっかりと市政の基礎づくりをやり直したいと思います。

私は、ひたすら、市民の声に真摯に耳を傾け、市民の皆さんから託された願いや思いを、一つ一つ政策立案し、創意工夫を凝らしながら、「希望都市まいばら」の実現に向けて邁進していきます。

そして、市政のトップリーダーとして、勇気と決断力をもって、今を次の時代につないでいく、進化・前進する米原市をつくっていきます。今後とも、市民の皆さんのご理解とご協力をよろしく願っています。

平成25年度の当初予算は「準通年型」

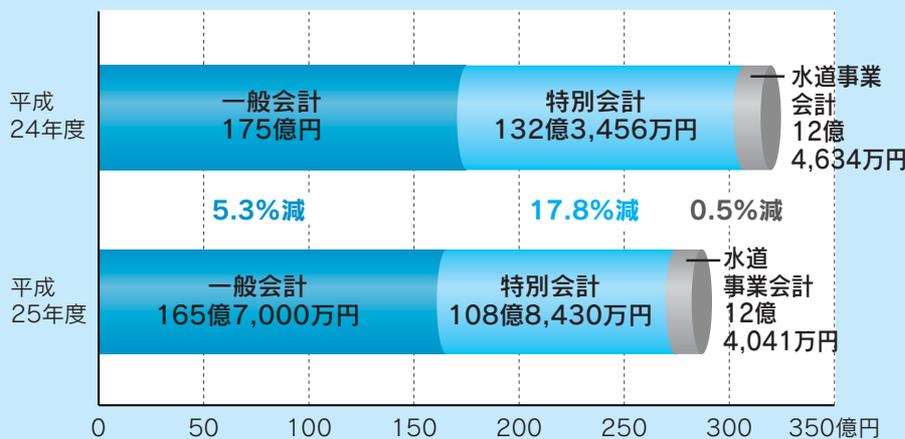
## 政策的な施策は6月以降の補正予算で対応

お問い合わせ  
総務部 財政課(米原庁舎)  
☎52-1553 ☎52-4447

3月の市議会定例会に提出した平成25年度の当初予算は、2月に市長選挙が行われたため、市長の政策的判断が必要な事業を除いた経費で構成しています。(準通年型予算)

今後、6月以降の補正予算で、前ページに記載した「市民の皆さんとの4つの約束」をはじめ、市長が掲げる政策提案を盛り込んで対応していきます。

なお、市の予算を分かりやすく皆さんにお伝えするための冊子「みんなにわかるみんなのまいばら予算」を毎年4月頃に発行しますが、今年度は6月の補正予算の成立後、7月下旬に発行する予定です。



### 平成25年度当初予算の全体像

一般会計は、「準通年型予算」で政策的な経費などの一部を盛り込んでいないこと、工業団地造成事業特別会計からの繰入金が減ったこと、双葉総合体育館の建設が完了したことなどにより、前年度と比べて5.3%の減額となりました。一般会計と特別会計等を合わせた米原市の総予算額としては、10.3%の減額となりました。